

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00240）

事務事業名称		青少年育成			款	04	項	02	目	01	事業	005	整理番号	261
現担当課名		児童青少年課			係名			青少年係			連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	255
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和29年度												
	平成29年度担当課名	児童青少年課												
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年、地域の青少年健全育成団体			根拠法令等	(1)		杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱						
						(2)		杉並区青少年善行表彰要綱						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	青少年育成委員会などの地域の青少年健全育成の活動を助成し、これらの団体が行う事業活動を通して子どもたちの健全育成を推進する。善い行いをした青少年及び団体を表彰し、善行の気運醸成を図る。			活動指標	指標名(1)		青少年育成委員会の総事業数（共催事業も含む）						
					指標名(2)		青少年善行表彰件数							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	青少年健全育成団体に対し、補助金または事業共催分担当金を支出する。青少年によるボランティア活動などの善行に対し、表彰を行う。すぎなみ舞祭を開催する。			指標説明	個人表彰人数+団体表彰団体数									
				成果指標	指標名(1)		青少年育成委員会実施事業参加者数（共催事業も含む）							
					指標名(2)		共催事業参加者数							
					指標説明		すぎなみ舞祭・ボーイスカウト・ガールスカウトとの共催事業参加者数							
区分		単位	平成27年度実績	平成28年度計画	平成28年度実績	平成29年度計画(目標値)	平成29年度実績	平成30年度計画	平成29年度対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 件	436	450	306	400	291	400	72.8					
	活動指標(2)	2 件	182	190	234	200	149	180	74.5					
	成果指標(1)	3 人	72,324	100,000	85,078	100,000	85,732	100,000	85.7					
	成果指標(2)	4 人	1,098	1,150	1,645	1,650	1,427	1,650	86.5					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	20,371	19,471	19,277	19,677	19,234	20,381	平成29年度予算執行率(%)	97.7				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	629	328	149	210	69	204						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.70	1.50	2.60	1.50	1.95	2.00					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.50	0.50	1.10	1.10	1.15	1.60					
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,870	13,121	22,261	12,843	16,752	17,182					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	1,468	1,468	3,268	3,268	3,386	4,710					
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	36,709	34,060	44,806	35,788	39,372	42,273						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	84,195	75,689	146,425	89,470	135,299	105,683						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源(14-20)		21 千円	36,709	34,060	44,806	35,788	39,372	42,273						
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	261
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		青少年育成委員会活動への助成	17	件	17,000
		青少年善行表彰の表彰状授与及び記念品の贈呈	149	件	577
		すぎなみ舞祭、ボーイスカウト等共催事業の開催	4	件	1,590
		その他（青少年育成委員会に係る消耗品の購入及び郵送料）			67
事業環境の変化と方向性	(2) 事業実績	区内17団体の青少年育成委員会に対し助成を行い、総計約86,000名が参加する青少年健全育成事業を促進しました。 青少年善行表彰では個人として124名、団体として25団体の表彰を行いました。 地域の青少年健全育成に関わる団体等と協働で、子どもが主体の踊りのイベント「すぎなみ舞祭」を開催し、約1,200名の参加がありました。			
		<p>【青少年育成委員会・委員数・参加者数】 H25：936名、97,554名 H26：931名、93,648名 H27：921名、72,324名 H28：950名、85,078名 H29：961名、85,732名</p> <p>【青少年善行表彰・受賞者数（個人・団体）】 H25：139名、30団体 H26：142名、41団体 H27：151名、30団体 H28：209名、35団体 H29：124名、25団体</p>			
事業開始当初から現在までの変化					
事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	青少年育成委員会の主催事業に参加した保護者からは「青少年育成委員会の取組が、地域で子どもの育ちを支える気運の醸成につながっている」などと評価を受け、青少年善行表彰の推薦者からは「善行表彰が継続的なボランティア活動への励みとなり、社会貢献の機会をつくっている」など、事業に対する肯定的な意見が寄せられています。				
今後（3～5年）の予測と方向性	青少年育成委員会は、地域や学校関係者、学校・児童館等の行政施設、子育て支援団体等からの人材で組織され、長年にわたり健全育成に資する取組を続けてきました。今後もこうした取組が維持されるよう、区の支援を継続していきます。 青少年善行表彰は、善い行いをした青少年を表彰することで、青少年が自身の励みとするとともに、模範となって他の青少年の善行を促進する取組となっており、今後も推薦に基づき、150～200件程度の表彰を継続していきます。 また、地域や関係団体等と協働し、すぎなみ舞祭をはじめとした青少年健全育成事業は引き続き実施していきます。				
評価と課題	青少年育成委員会は長年にわたり地域社会における児童健全育成活動を担い、一定の成果を挙げてきました。一方、構成員の固定化、高齢化、実施事業の硬直化が進み、新たな担い手となる人材確保が課題となっています。 青少年善行表彰は、広く善行を周知することによって他の青少年の模範となり、新たな善行を促進する取組となっています。引き続き区民周知を図り、より多くの善行促進に努めていくことが求められます。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	青少年育成団体からは、より高い頻度での支援を求められていますが、現状の組織体制や事業運営等の実態を踏まえ、他部署とも連携しながら、区としての支援や助成のあり方を検討します。 青少年善行表彰や、すぎなみ舞祭をはじめとする青少年の健全育成に関わる事業は、事業規模とその効果等を見定めながら実施していきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00241)

事務事業名称 青少年の自立応援・社会参加事業			款 04	項 02	目 01	事業 006	整理番号 262				
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係	連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 256						
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分	既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度									
	平成29年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分	一般				
	対象	区内在住・在学・在勤の25歳未満の青少年		根拠法令等	(1)	成人祝賀のつどい実施要綱					
					(2)						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	青少年が、社会を構成する主体として自覚を持った成人に成長するよう支援する。		活動指標	指標名(1)	成人祝賀のつどい出席者数					
				指標説明	自立支援・社会参画事業実施回数						
				指標名(2)							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			指標説明								
	○成人の日に成人祝賀のつどいを開催する。 ○中・高校生の参画による情報サイトを運営する。 ○青少年ボランティア体験事業を実施する。 区内在学の高校生を対象に、将来の夢や仕事に関する意識調査を実施する。		成果指標	指標名(1)	自立支援・社会参画事業参加人数						
				指標説明	各実施事業の参加延べ人数						
				指標名(2)	将来の夢や目標を持っている区内高校2年生の割合						
				指標説明	区内高校2年生に対する将来の夢や仕事に関するアンケートの集計結果						
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 人	2,135	2,200	2,192	2,200	2,153	2,200	97.9		
	活動指標(2)	2 回	137	100	82	90	69	90	76.7		
	成果指標(1)	3 人	5,637	6,000	6,690	6,000	7,249	6,000	120.8		
	成果指標(2)	4 %	64.0	71	63.8	72	60.9	72	84.6		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	9,585	9,852	9,284	12,486	11,004	8,492	平成29年度 予算執行率(%)	88.1	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	7,025	7,413	7,232	9,509	8,360	6,124	青少年地域情報サイトの運営内容を見直すための委託費に契約落差が生じたため、執行率が90%を下回りました。		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.70	1.50	1.40	1.00	1.02	0.70		
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10 人	1.40	1.40	0.80	0.60	0.50	0.50		
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,870	13,121	11,987	8,562	8,763	6,014		
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13 千円	4,109	4,109	2,377	1,783	1,472	1,472		
	総事業費	14 千円	28,564	27,082	23,648	22,831	21,239	15,978			
	単位当たりコスト	15 円	13,379	12,310	10,788	10,378	9,865	7,263			
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源		21 千円	28,564	27,082	23,648	22,831	21,239	15,978			
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	262	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		成人祝賀のつどいの実施	1	回	7,354	
		仕事や将来に関するアンケート（高校2年生対象）の実施	18	校	2,352	
		青少年地域情報サイトの運営業務委託			896	
		青少年ボランティア体験事業の実施	1	回	115	
		その他（消耗品の購入、郵送料等）			287	
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>成人の日に成人祝賀の集いを開催し、2,153名が参加しました。 中・高校生向け施設である児童青少年センター（ゆう杉並）の情報を中心とした青少年地域情報サイトの運営を行いました。 ボランティアセンターと協働し、夏休み期間中に保育園や児童館等でボランティア体験の場を提供し、104名が参加しました。 高校2年生を対象に将来の夢や仕事に関するアンケートを実施しました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>近年、若者のひきこもりが社会問題化するなど、若者への自立支援が必要とされる状況が続いています。一方、平成28年には選挙権年齢が18歳に引き下げられ、成人年齢の引き下げも進められるなど、若者層への社会参加を促す動きが顕著になっています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>成人祝賀の会の参加者から「大人として社会を支える立場になったことを自覚する機会になった」「旧交を温めながら、改めて地域で暮らす良さを実感し、地域貢献していきたいと思えた」などの意見が寄せられました。 また、ボランティア体験に参加した青少年から、「将来の職業選択の際に参考となる有意義な経験ができた」などの意見を得ています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>成人祝賀のつどいの出席率は、20年前の30%前後から徐々に上昇し、過去10年は45%～50%で推移しています。今後も同程度の出席率が見込まれ、引き続き参加者のニーズを踏まえて開催していきます。 若者の自立や社会参加を促す取組は今後も不可欠であり、区民ニーズや役割分担を踏まえて改善を図りながら推進していきます。</p>				
評価と課題		<p>成人祝賀のつどいやボランティア体験事業は、参加者から良好な評価を得るなど、青少年の自立や社会参加に資する取組となりました。 青少年地域情報サイトの運営については、サイトが見つらいなどの課題を受け、中・高校生の意見を踏まえて、中・高校生が必要とする情報を検索しやすくなるよう、抜本的にサイトの構成を見直しました。 将来の夢と仕事に関するアンケートは、平成22年度から実施し、高校生の一側面を把握する手段として一定の成果がありました。今後も次世代を担う高校生の生の声である結果内容を区の施策に反映できるよう、設問の見直しなども検討しながら、より効果的な調査となるよう努めます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>成人祝賀のつどいは運営業務と警備業務を分けて委託し、より効率的な実施を図ります。 ボランティア体験事業、将来の夢と仕事に関するアンケートは、内容の改善を図りながら、引き続き実施します。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00270）

事務事業名称		学童クラブ事業		款	04	項	02	目	01	事業	034	整理番号	288								
現担当課名		児童青少年課		係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	282								
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始		昭和39年度																		
	平成29年度担当課名		児童青少年課						事業評価区分		一般										
	対象		保護者が就労等で昼間留守家庭となる区内在住・在学の小学生		根拠法令等		(1)		児童福祉法第6条の3第2項		(2)		杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		家庭、学校、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図るなど、児童の健全育成支援を目的とする。		活動指標		指標名（1）		学童クラブ数		指標説明										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		児童一人ひとりが尊重され、安心して安全に、楽しく過ごせる放課後等の集団生活の場を提供する。 児童の受入時間 平日 下校時から午後6時まで（延長利用は午後6時30分まで、学校休校日は午前8時30分から受入） 土曜日 午前8時30分から午後5時まで 休業日 日曜、休日、年末年始		成果指標		指標名（1）		入会児童数		指標説明		4月時点の入会児童数								
						指標名（2）		待機児童数		指標説明		翌年4月時点の待機児童数									
区分		単位		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成29年度									
				実績		計画		計画 （目標値）		実績		計画		対計画比（%）							
指標	活動指標（1）		1 か所		50		49		49		49		48		100.0						
	活動指標（2）		2																		
	成果指標（1）		3 人		3,813		3,864		4,018		4,100		4,172		4,618		101.8				
	成果指標（2）		4 人		84		0		199		0		255		0		0.0				
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		298,654		363,300		357,507		439,649		431,849		501,787		平成29年度 予算執行率（%）		98.2		
	（内）投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	（内）委託費		7 千円		266,638		327,247		325,660		406,581		400,511		465,915				経費の増は学童クラブ 入会児童数の増による ものです。		
	職員数	常勤職員数		8 人		86.50		75.60		85.60		75.10		85.20		79.40					
		再任用職員数		9 人		2.40		3.60		3.60		4.40		4.00		5.80					
		非常勤職員数		10 人		3.60		2.80		3.00		2.90		32.00		30.40					
	人件費	常勤職員分		11 千円		756,616		661,273		732,907		643,006		731,953		682,125					
		再任用職員分		12 千円		9,934		14,900		15,804		19,316		17,712		25,682					
		非常勤職員分		13 千円		10,566		8,218		8,913		8,616		94,208		89,498					
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円		1,075,770		1,047,691		1,115,131		1,110,587		1,275,722		1,299,092						
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15 円		21,515,400		21,381,449		22,757,776		22,665,041		26,035,143		27,064,417						
	財源	受益者負担分		16 千円		153,342		159,195		165,781		170,603		174,146		185,207					
		国からの補助金等		17 千円		151,434		96,145		155,047		4,139		175,110		175,110					
		都からの補助金等		18 千円		4,086		8,182		155,047		4,139		175,110		114,824					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		308,862		263,522		475,875		178,881		524,366		475,141							
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		766,908		784,169		639,256		931,706		751,356		823,951							
受益者負担比率 (16÷14)		22 %		14.3		15.2		14.9		15.4		13.7		14.3							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	288
		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	学童クラブ運営業務委託	12	所	395,192
		民間学童クラブ運営費助成	2	所	19,702
		おやつ代助成	587	人	11,210
	(2) 事業実績	その他（事務費ほか）			
		<p>小学校内への移設や既設学童クラブの改修等を行い、受入数の拡大を図りました。区立学童クラブ（区直営37クラブ、委託12クラブ）の運営のほか、民間学童クラブへの運営費補助や学童クラブを利用している就学援助受給世帯等へのおやつ代助成を実施しました。平成30年4月に成田西学童クラブを杉並第二小学校内に移転し、既に学校内で委託事業者により運営している杉二学童クラブを拡張の上、統合するに当たり、円滑な業務移行に向け、委託事業者が成田西学童クラブの運営に関わりながら、引き継ぎを行いました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。入会児童数は、この10年間で約1.5倍となり、約1,400人増加しています。</p> <p>【入会児童数】 平成20年4月：2,978人 平成28年4月：4,018人 平成29年4月：4,172人 平成30年4月：4,324人</p> <p>【待機児童数】 平成20年4月：30人 平成28年4月：84人 平成29年4月：199人 平成30年4月：255人</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	待機児童の解消や終了時間及び夏季等の学校休業期間中の開始時間の延長を求める声が寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されるため、将来的な需要見込みに基づき、学童クラブの受入数の拡大を図ります。			
	評価と課題	<p>増加する学童クラブ需要に対応するため、小学校内への移設や既設学童クラブの改修等を計画的に進め、受入数の拡大に努めました。一部の学童クラブにおいて、受入数を上回る入会申請数となりました。一方、学校から児童館への「直接来館制度」の開始や、移動することなく学校内で安全・安心に放課後を過ごすことができる「放課後等居場所事業」を本格実施するなど、学童クラブ以外の子ども居場所について拡充を図りました。</p> <p>また、学童クラブの利用時間の延長については、平成31年4月実施に向けた調整・準備を進めました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度は、待機児童数255人のうち、6割以上を占める7か所の学童クラブに対する緊急対策を検討・実施するほか、中長期的な児童数推移を見据え、そのほかの学童クラブについても整備の検討・具体化を図り、杉並区実行計画や施設再編整備計画の改定に反映します。学童クラブの整備に加え、放課後等居場所事業の本格実施校数の拡大や子ども・子育てプラザの整備を計画化し、子どもたちの発達段階に応じた居場所を確保していきます。</p> <p>また、平成31年4月を目途に全学童クラブで利用時間の延長を実施していきます。これに先立ち、平成30年4月から3学童クラブにおいてモデル実施を行い、必要な検証の上、円滑な事業実施を図っていきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00271)

事務事業名称		児童健全育成事業				款	04	項	02	目	01	事業	035	整理番号	289
現担当課名		児童青少年課				係名	児童館運営係			事業係	連絡先電話番号	4402	昨年度整理番号	283	
上位施策No・施策名											24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 03				主要事業(区政経営報告書掲載事業)								
	平成29年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般									
	対象	18歳未満の児童及び保護者、児童の健全育成支援の活動を行う団体・個人等				根拠法令等	(1)	児童福祉法第35条、同法第40条							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	児童青少年センター、児童館及び子ども・子育てプラザにおける事業の充実を図り、児童の自主性、社会性、創造性等を培い、その健やかな成長を支援する。				活動指標	指標名(1)	センター及び児童館数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	児童館の自由利用のほか、定例活動(工作、調理等)や、特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等)等を実施する。児童青少年センターの自由利用のほか、各種事業(職員企画、中高校生運営委員会企画事業等)を実施する。○子ども・子育てプラザでの子育てに関する各種講座や遊びのプログラムの実施、各種サービスの情報提供と利用相談を実施する。放課後等居場所事業を実施する。				指標名(2)	子ども・子育てプラザ数								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1 館	42	41	41	41	41	39	100.0						
	活動指標(2)	2 館	0	1	1	1	1	2	100.0						
	成果指標(1)	3 人	1,587,603	1,600,000	1,625,155	1,600,000	1,583,898	1,600,000	99.0						
	成果指標(2)	4 人	0	0	17,900	50,000	59,299	100,000	118.6						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	361,564	400,518	372,417	406,674	393,609	132,772	平成29年度予算執行率(%)		96.8				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	1,408	1,941	1,229	19,826	15,795	31,136							
	職員数	常勤職員数	8 人	114.50	111.00	114.10	110.10	113.00	105.30						
		再任用職員数	9 人	4.80	7.20	7.20	8.80	9.00	13.10						
		非常勤職員数	10 人	89.20	96.20	96.00	99.00	70.00	66.60						
	人件費	常勤職員分	11 千円	1,001,532	970,917	976,924	942,676	970,783	904,632						
		再任用職員分	12 千円	19,867	29,801	31,608	38,632	39,852	58,007						
		非常勤職員分	13 千円	261,802	282,347	285,216	294,129	206,080	196,070						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	1,644,765	1,683,583	1,666,165	1,682,111	1,610,324	1,291,481							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	39,161,071	41,063,000	40,638,171	41,027,098	39,276,195	33,114,897							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	1	0	1						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	3,993	150,786	4,125	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	3,993	150,786	4,125	19,666						
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0						
		特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	0	0	7,986	301,573	8,250	19,667						
		差引:一般財源(14-20)	21 千円	1,644,765	1,683,583	1,658,179	1,380,538	1,602,074	1,271,814						
	受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 289

平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	児童青少年センター事業	1	館
	児童館、子ども・子育てプラザ事業	41	館	19,047
	児童館中・高生事業	41	館	817
	放課後等居場所事業	1	校	18,109
	その他（管理運営費、非常勤職員報酬・賃金の支払等）			351,457
(2) 事業実績	<p>児童館では、館内外での活動に加え、地域団体との連携事業などを展開し、遊びを通して子どもの成長を支援しました。児童青少年センターでは、利用者の意見を踏まえた事業運営を行うなど、中・高校生の居場所の充実を図りました。子ども・子育てプラザでは、子育てに関する各種講座の実施、各種サービスの情報提供・利用相談など、地域における子育てを支援しました。小学生の放課後等居場所事業について、杉並和泉学園での取組が本格実施に移行したほか、実施校拡大に向けた取組を5校で実施しました。</p>			

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>児童館では、地域の児童健全育成と子育て支援の拠点として様々な事業を実施しています。現在では区内に40館が設置されていますが、中でも児童青少年センターは全国に先駆け設置された中・高校生向けの大型児童センターとして事業を展開しています。</p> <p>近年、児童館では、乳幼児親子と小学生の学童クラブ利用が大幅に伸びる一方、中・高校生の利用は減少傾向にあるなど、利用状況が変化してきています。限られたスペースの中で、幅広い年齢層のニーズを満たす事業・サービスを展開していくことが難しくなっています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>児童館を利用する乳幼児の保護者からは、「小学生以上の児童との混在は安全に不安がある」、「午後の時間帯や夏休み等は小学生の利用が多く実質的に利用できない」などの声が寄せられています。</p> <p>同様に、中・高校生にとっても児童館は利用しづらく、児童青少年センターの他にも、身近な地域で利用が可能な中・高校生の居場所を求める声が寄せられています。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>核家族化の進展や地域社会のつながりの希薄化、都市化による遊閑地や遊び場の減少などの社会状況の変化を背景に、子どもたちが安全・安心に過ごし、交流できる居場所づくりがこれまで以上に必要になると考えられます。</p> <p>そのため、現在の児童館が果たしている機能・サービスを、身近な小学校や子ども・子育てプラザなどで継承し、充実・発展させる取組を段階的に進め、子どもたちの発達段階に応じた居場所を拡充していきます。</p>
評価と課題	<p>子ども・子育てプラザ和泉は、平成28年12月開設以降、乳幼児親子の利用が従前と比べ約4倍程度となり、区民ニーズに応える施設運営を図ることができています。</p> <p>また、平成29年4月に杉並和泉学園において「放課後等居場所事業」を本格実施し、小学生の平日の利用が従前と比べ約2倍程度となり、小学生の放課後の居場所の拡充を図ることができました。</p> <p>今後も、児童の多様な居場所の確保・拡充を図り、児童館という施設にとらわれない事業展開を行っていきます。</p>	

翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
翌年度の方針	<p>児童館機能のうち、小学生の放課後等の居場所と学童クラブについては、小学校内への移設を基本とし、継承・発展させていきます。また、乳幼児親子の居場所は、機能移転後の児童館施設等を活用し、子ども・子育てプラザを整備します。</p> <p>中・高校生の居場所については、移転後の永福体育館跡地に建設される図書館と地域コミュニティ施設などの複合施設内のスペースを活用して、中・高校生が日常的に集い、交流することができる新たな居場所を確保します。</p>	

平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00273 ）

事務事業名称		子ども国内交流事業			款	04	項	02	目	01	事業	037	整理番号	291	
現担当課名		児童青少年課			係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	285		
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成 2年度													
	平成29年度担当課名	児童青少年課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住の小学生（４～６年生）			根拠法令等	(1)		杉並区立児童青少年センター及び児童館事業運営要綱							
						(2)		杉並区都市交流実施要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○友好都市の子どもとの交流を通して、児童の健全育成を図る。			活動指標	指標名（ 1 ）		交流自治体数							
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	名寄市との交流会を開催する。 東吾妻町との交流会を開催する。			成果指標	指標名（ 1 ）		参加者数								
					指標説明										
					指標名（ 2 ）										
					指標説明										
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度						
			実績	計画	実績	計画 （目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1	自治体	2	2	2	2	2	100.0						
	活動指標（ 2 ）	2													
	成果指標（ 1 ）	3	人	50	50	50	50	50	100.0						
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,797	6,404	5,642	7,484	6,724	7,487	平成29年度 予算執行率（%）	89.8				
	（内）投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○東吾妻町との交流会について、杉並区での滞在日数が増加したことにより事業費が増えています。 ○交流会プログラムの内容を創意工夫し、コストを削減した結果、執行率が90%を下回りました。					
	（内）委託費	7	千円	0	0	0	0	0	2,008						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.10	1.00	1.10	1.00	1.10						1.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,622	8,747	9,418	8,562	9,450						8,591
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0						0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	16,419	15,151	15,060	16,046	16,174	16,078						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	8,209,500	7,575,500	7,530,000	8,023,000	8,087,000	8,039,000						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	2,880	3,025	2,653	3,533	2,861	3,061						
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	2,880	3,025	2,653	3,533	2,861	3,061						
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	13,539	12,126	12,407	12,513	13,313	13,017						
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	291	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		杉並区・名寄市子ども交流会の開催		2	回	5,031
		杉並区・東吾妻町子ども交流会の開催		2	回	1,693
		その他（ ）				
(2) 事業実績	名寄市との交流会（7月名寄編：3泊4日、8月杉並編：3泊4日 参加児童25名） 東吾妻町との交流会（8月東吾妻編：1泊2日、8月杉並編：2泊3日 参加児童25名）					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	杉並区の交流自治体である名寄市との子ども交流会は、平成5年に、名寄市（当時の風連町）の小学生を杉並区に招待することから始まり、現在では、子どもたちが相互に訪問・交流し、友好を深めています。 同じく交流自治体である東吾妻町との交流会は、平成2年から実施し、相互に訪問・交流しています。 当初は、交通実費等について参加者の一部負担がありましたが、平成24年度からは次世代育成基金活用事業として、参加費を徴収せずに実施しています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	参加した児童からは、「貴重な体験ができた」、「友人が増えた」、「東京との違いを感じる事ができた」等の感想がありました。保護者からは、「短期間にも関わらず子どもの成長が感じられた」、「このような体験機会を増やしてほしい」等の意見が寄せられています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	事業が広く認知されており、参加を希望する児童数が、定員を超える状況は今後も続くことが予測されます。今後も、運営方法やプログラム内容等の改善を図り、よりよい事業を展開していきます。				
	評価と課題	子どもたちの貴重な体験機会として、保護者や学校関係者、寄附者等から高い評価を得ています。また、交流自治体間の相互訪問は、将来にわたる友好関係の礎になるものと期待されます。今後も、より意義のある取組となるよう、運営方法やプログラム内容等の改善を図ります。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
翌年度予算の方向性の理由・内容	交流先の自治体との協議を行いながら、参加する児童がより自主的・主体的に参加できる仕組みを構築するなど、更に意義のある事業となるよう取組を進めていきます。					

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00282）

事務事業名称 次世代育成基金の運営			款 04	項 02	目 01	事業 050	整理番号 297			
現担当課名 児童青少年課		係名 青少年係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 294				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成24年度		実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 01			主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
平成29年度担当課名 児童青少年課						事業評価区分 一般				
対象 区内の小・中・高校生、支援する大人		根拠法令等 (1) (2)		杉並区次世代育成基金条例 杉並区次世代育成基金推進会議設置要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 子どもたちが、国内外の文化・芸術・自然に触れ、またはスポーツ交流に参加する機会を創出するため、基金を運営する。 基金への理解・賛同を得られるよう周知し、募金の呼びかけを図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2）		基金活用事業件数 基金活用事業参加者募集（定員）数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 区内の小・中・高校生を対象とした国内外の体験交流事業等の実施に対し、子どもの参加に係る経費の2分の1を基金から充当する。 基金の趣旨を広く区民に周知し、寄附を募る。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		基金活用事業参加児童・生徒数 派遣型事業は参加実人数、講座型事業は参加延べ人数 寄附者件数					
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画 (目標値) 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比(%)	
指標	活動指標（1）	1 件	8	10	10	12	12	11	100.0	
	活動指標（2）	2 人	275	300	717	500	473	744	94.6	
	成果指標（1）	3 人	256	300	740	500	1,192	744	238.4	
	成果指標（2）	4 件	730	1,000	710	1,000	1,275	1,000	127.5	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	27,644	24,311	15,031	36,936	32,825	19,851	平成29年度 予算執行率(%) 88.9	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 民間事業者からの提案事業に対する1事業当たりの助成金額が見込みより少なかったため、執行率が90%を下回りました。	
	(内) 委託費	7 千円	218	290	183	206	197	286		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.20	0.50	0.10	0.15	0.40		0.50
		再任用職員数	9 人	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.60	0.60	0.60	0.50	0.70		1.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	10,496	4,374	856	1,284	3,436		4,296
		再任用職員分	12 千円	4,139	4,139	4,390	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	1,761	1,761	1,783	1,486	2,061		2,944
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	44,040	34,585	22,060	39,706	38,322	27,091		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	5,505,000	3,458,500	2,206,000	3,308,833	3,193,500	2,462,818		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	19,205	10,131	5,806	15,067	26,371	14,549		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	19,205	10,131	5,806	15,067	26,371	14,549		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	24,835	24,454	16,254	24,639	11,951	12,542		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	297	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		基金の積立	1	回	26,870	
		基金活用事業助成金の交付	5	件	5,085	
		次世代育成基金活用事業実施報告書の作成	6,000	部	267	
		応援寄附募集リーフレットの作成	3,000	部	198	
		その他（応援寄附チラシの作成、寄附者宛御礼状及び実施報告書の送付）			405	
	(2) 事業実績	<p>基金活用事業7件（うち1件は天候不良のため縮小）を実施したほか、民間事業者が実施した5件に対し助成金を交付しました。また、区広報やリーフレット等によるPRや、基金活用事業報告会や各種イベントでの呼びかけ、「ふるさと納税ポータルサイト」の開設等により、1,275件、23,756,150円の寄附が集まりました。</p>				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成24年度に基金を開設し、継続的にPRを行ってきた結果、寄附件数は平成29年度に初めて1,000件を超えるなど、区民の当基金に対する認知度は高まっています。また、平成29年度には、「ふるさと納税ポータルサイト」での寄附受付を開始しました。</p> <p>【寄附件数・寄附額】 H24：35件、4,307,876円 H25：221件、30,353,809円 H26：419件、10,654,563円 H27：730件、19,009,210円 H28：710件、5,614,487円 H29：1,275件、23,756,150円 平成27年度より民間事業者からの提案事業に対し、助成金を交付する制度を開始しました。 【助成件数】H27：1件 H28：3件 H29：5件</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>基金活用事業の参加者からは「異なる文化に触れる良い体験ができた」、「将来の職業について考えるきっかけとなった」等の意見が多数寄せられています。</p> <p>また、寄附者からは「国際的な感覚を持つとともに、日本の文化についても学んでほしい」、「何事にも挑戦する青少年の育成に活用してほしい」などの声が寄せられています。</p>				
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>貴重な体験や交流の場を提供する本基金活用事業への期待は今後も続くと考えられます。同時に、基金に対する区民理解は一層進み、新たな寄附者とともにリピーターの増加も見込まれます。区民の高い期待を背景に、今後も寄附への賛同を得ながら、基金活用事業の充実を図ります。</p>				
	評価と課題	<p>基金活用事業の参加者や保護者から高い評価を得ていると同時に、基金の趣旨に賛同し、実績を評価する区民や事業者等から寄附を受ける状況が続いています。児童の健全育成に加え、寄附文化の醸成という点からも評価できる取組です。</p> <p>一方、民間提案による活用事業は4年目を迎え、助成を継続する事業が複数挙がるなど、やや体験機会が固定化しています。良質な取組を維持しながらも、より多様な機会を創出することが今後の課題となっており、基金の更なる効果的運営を図るため、事業の検証を行っていきます。</p>				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>これまでに引き続き、次世代育成基金の主旨について周知を行い、より多くの方々に寄附への理解と賛同を得られるよう努めます。</p> <p>また、民間事業者からの提案による基金活用事業の内容がより充実するよう、周知方法の見直しなどにより提案件数の増加を図るなど、事業の改善に取り組みます。</p>				

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00686)

事務事業名称		子どもプレーパーク事業			款	04	項	02	目	01	事業	063	整理番号	306
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	303
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		既定事業
事務事業の概要	事業開始	平成27年度												
	平成29年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分		一般							
	対象	児童			根拠法令等	(1)		杉並区NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する条例						
						(2)		杉並区協働提案制度実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	〇火遊びや水遊び、木工など、屋外での自由な遊びで得られる様々な体験・交流を通じて、子どもたちの自主性や社会性を育成する。			活動指標	指標名(1)		プレーパーク実施回数						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	区立公園を会場としたプレーパークを開催する。プレーパークを開催している地域団体等との連携及び支援を行う。次世代プレーリーダーを育成する。児童館との連携による出前プレーパークを開催する。			成果指標	指標名(1)		プレーパーク参加者数							
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	32	48	48	58	55	58	94.8				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3	人	4,239	7,000	7,822	8,000	9,637	10,000	120.5				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	4,746	5,625	5,543	5,539	5,539	6,309	平成29年度予算執行率(%)	100.0			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0	5,967					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,749	1,749	1,712	1,712	1,718	1,718				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	6,495	7,374	7,255	7,251	7,257	8,027					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	202,969	153,625	151,146	125,017	131,945	138,397					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	2,372	0	2,747	0	2,747	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	2,372	0	2,747	0	2,747	0					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	4,123	7,374	4,508	7,251	4,510	8,027					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 306

平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	協働提案事業「子どもプレーパーク事業」分担金の支出	1	団体
(2) 事業実績	<p>NPO法人との協働提案事業として「子どもプレーパーク事業」を実施し、区立公園を会場としたプレーパーク「杉並冒険遊び場 のびっばひろっぱ」を開催（柏の宮公園35回、4,569人参加、井草森公園20回、5,068人参加）したほか、プレーパーク実施団体への運営支援（2団体へ18回）、次世代プレーリーダー養成講座（4回）、児童館等への出前プレーパーク（7回）を実施しました。</p>			45

事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>区とNPO法人との協働提案事業として平成27年7月から子どもプレーパーク事業を開始し、平成29年度までに、延べ135回、21,698名の参加者がありました。</p> <p>【実施回数】 平成27年度：32回 平成28年度：48回 平成29年度：55回</p> <p>【参加者数】 平成27年度：4,239人 平成28年度：7,822人 平成29年度：9,637人</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>参加した児童の保護者からは、「普段の公園の利用の中では得られない貴重な体験の場になった」、「実施会場や開催日を増やして欲しい」といった意見が寄せられています。</p>
	今後（3～5年）の予測と方向性	<p>参加人数は年々増えており、子どもたちの健全な育成に一定の効果が期待されることから、平成30年度からは区の委託事業として継続することに加え、更なる参加者増に対応すべく、回数増や新たな開催場所を検討します。</p>
評価と課題	<p>屋外での自由な遊びで得られる体験・交流は、子どもたちの自主性や社会性などを育むうえで大きな効果があります。一方、火遊びや水遊びといった通常の公園利用とは異なる自由な遊びを行っていることから、参加者や公園利用者への安全配慮が課題です。</p> <p>協働提案事業として実施した3年間の実績を踏まえ、平成30年度からは区の委託事業として実施しますが、将来的な事業のあり方や運営手法等について、引き続き検討していきます。</p>	

翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	<p>I 事業コストの方向性 現状維持</p> <p>II 事業の改善の方向性 手段・方法の見直し（改善）</p>
	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>協働提案事業として実施した3年間の実績や意見等を踏まえ、予算規模は維持しつつ、運営場所の拡大等も視野により充実した内容となるよう、運営方法について検討していきます。</p>

平成30年度杉並区事務事業評価表(1)

(00292)

事務事業名称		児童青少年センター・児童館等の維持管理			款	04	項	02	目	02	事業	002	整理番号	310		
現担当課名		児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	306				
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和41年度														
	平成29年度担当課名	児童青少年課										事業評価区分	施設維持管理			
	対象	児童青少年センター、児童館、子ども・子育てプラザ、学童クラブの各施設			根拠法令等	(1)	児童福祉法第35条、同法第45条									
						(2)	杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	○施設の実情にあわせた修繕や設備等の整備を適切に行い、安全・安心で快適に利用できる施設を維持することで、児童の健全育成支援の充実に図る。			活動指標	児童館数(児童青少年センター、子ども・子育てプラザ含む)										
				指標名(1)	単独学童クラブ数											
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)			成果指標												
	施設の保守点検、小規模修繕を行う。 施設の設備、維持管理物品等を購入する。 施設の光熱費等公共料金を支払う。			指標名(1)												
				指標説明												
				指標名(2)												
				指標説明												
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1 館	42	42	42	42	42	42	100.0							
	活動指標(2)	2 か所	12	12	12	13	13	13	100.0							
	成果指標(1)	3														
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	289,079	304,702	277,827	299,585	284,599	344,075	平成29年度 予算執行率(%)	95.0						
	(内)投資的経費等	6 千円	4,509	4,551	4,145	4,096	3,501	38,486	特記事項							
	(内)委託費	7 千円	168,895	179,217	168,709	183,904	171,882	227,407								
	職員数	常勤職員数	8 人	24.00	22.90	23.70	22.80	23.60	22.10							
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10 人	1.00	1.40	1.00	1.40	1.00	1.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	209,928	200,306	202,919	195,214	202,748	189,861							
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13 千円	2,935	4,109	2,971	4,159	2,944	2,944							
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	501,942	509,117	483,717	498,958	490,291	536,880								
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	11,843,643	12,013,476	11,418,381	11,782,429	11,590,238	11,866,524								
	財源	受益者負担分	16 千円	4,224	4,669	5,823	4,342	5,187	4,611							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	3,400							
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	63,686							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	4,224	4,669	5,823	4,342	5,187	71,697								
差引:一般財源(14-20)		21 千円	497,718	504,448	477,894	494,616	485,104	465,183								
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.8	0.9	1.2	0.9	1.1	0.9									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	310
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		施設保守管理委託	55	所	161,196
		施設修繕費	55	所	31,981
		光熱水費			75,106
		その他（電話料・手数料・備品購入 ほか）			16,316
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>児童館・学童クラブを安全・快適に利用できるよう、施設保守管理委託契約に加え、計画的な備品・消耗品類の購入や迅速かつ効率的な施設・設備の修繕を行い、適切な維持管理に努めました。施設修繕に当たっては、将来的な大規模修繕の計画や関連諸室の改修等の予定を確認し、工事内容が重複しないよう計画的な修繕を進めました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>児童館の多くは昭和40年～50年代に建設され、老朽化による大規模修繕の必要性は年々高まっています。また、近年では、乳幼児親子の利用増加や学童クラブの需要増加など、建設当初に想定した利用状況と大きく異なっています。今後は、老朽化が進む施設の適切な維持管理を図るとともに、区立施設再編整備計画に基づき、児童館施設の再編整備を着実に進めていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方				

平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00305 ）

事務事業名称 学童クラブの整備			款 04	項 02	目 03	事業 037	整理番号 317				
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 313					
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業					
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 02								
	平成29年度担当課名	児童青少年課				事業評価区分 一般					
	対象	施設管理		根拠法令等 (1) (2)	児童福祉法第6条の3第2項 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するため、児童館の一部諸室を育成室等へ転用する等の取組により、学童クラブ受入枠拡大を図る。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	改修実施児童館（クラブ）数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	児童館の一部諸室を育成室等へ転用する改修等を行う。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明	児童館（クラブ）改修等による受入枠の拡大数						
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	所	3	2	2	3	3	1	100.0	
	活動指標（2）	2									
	成果指標（1）	3	人	72	87	87	109	109	94	100.0	
	成果指標（2）	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	64,243	44,405	40,487	68,421	62,524	173,402	平成29年度 予算執行率(%) 91.4 特記事項 平成29年度は前年度より改修工事施設の増により経費が増となりました。	
	（内）投資的経費等	6	千円	64,243	44,405	40,487	68,421	62,524	173,402		
	（内）委託費	7	千円	62,106	40,405	36,972	68,421	62,524	172,202		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	875	875	856	856	859		859
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	65,118	45,280	41,343	69,277	63,383	174,261		
	単位当たりコスト (14÷6)÷1)	15	円	291,667	437,500	428,000	285,333	286,333	859,000		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	65,118	45,280	41,343	69,277	63,383	174,261		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	317	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		学童クラブ受入枠拡大のための改修工事（荻窪、東原、馬橋）		3	所	60,224
		学童クラブ受入枠拡大のための施設設計（高井戸）		1	所	2,300
		その他（ ）				
(2) 事業実績	荻窪児童館、東原児童館、馬橋児童館の一部諸室を改修して育成室等に転用し、受入枠の拡大を図るとともに、高井戸区民事務所会議室のスペースを転用して高井戸児童館内学童クラブを拡大するための施設設計を行いました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。それまでの間、増加する学童クラブ需要に対応するため、児童館施設の改修等により受入数を拡大していくこととしています。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	待機児童の解消を求める声が寄せられています。				
	今後（3～5年）の予測と方向性	当面は保育需要に連動する形で、学童クラブ需要も増加していくと予測されるため、将来的な需要見込みに基づき、児童館の諸室を学童クラブ育成室に改修するなど、受入数の拡大を図ります。				
評価と課題	荻窪児童館、東原児童館、馬橋児童館を計画的に改修し、目標値と同数の学童クラブ受入数を確保しました。また、高井戸学童クラブについても、計画どおり施設設計を行いました。					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し				
翌年度予算の方向性の理由・内容	待機児童数255人（平成30年4月1日時点）のうち、6割以上を占める7か所の学童クラブに対する緊急対策を検討・実施するほか、そのほかの学童クラブについても中・長期的な児童数推移を見据えた整備を検討・具体化し、受入数の拡大を図ります。					

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00687）

事務事業名称 桃井第二小学校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 043	整理番号 319		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 317				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分 投資事業			
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
平成29年度担当課名 児童青少年課							事業評価区分 一般			
対象 施設管理		根拠法令等 (1) (2)		児童福祉法第6条の3第2項 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、桃井第二小学校の校舎内に学童クラブを整備する。		活動指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明		学童クラブ移転整備					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 荻窪北学童クラブの移転スペースを桃井第二小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。		成果指標 指標名（1） 指標説明 指標名（2） 指標説明							
区分		単位	平成27年度 実績	平成28年度 計画 実績		平成29年度 計画（目標値） 実績		平成30年度 計画	平成29年度 対計画比（%）	
指標	活動指標（1）	1 所	0	1	0	1	0	1	0.0	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,273	5,700	4,244	74,546	70,070	124,696	平成29年度 予算執行率(%) 94.0 特記事項 平成29年度は建設工事の着手等により大幅に経費が増となりました。 平成30年度までの債務負担による事業です。	
	（内）投資的経費等	6 千円	1,273	5,700	4,244	74,546	70,070	124,696		
	（内）委託費	7 千円	1,273	5,700	4,244	71,359	67,492	123,496		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	875	875	856	856	859		859
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費（5+11+12+13）		14 千円	2,148	6,575	5,100	75,402	70,929		125,555
	単位当たりコスト（(14-6)÷1）		15 円	0	875,000	0	856,000	0		859,000
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	12,930		0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	3,231		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計（16+17+18+19）		20 千円	0	0	0	0	16,161	0		
差引：一般財源（14-20）		21 千円	2,148	6,575	5,100	75,402	54,768	125,555		
受益者負担比率（16÷14）		22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	319	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改築工事(桃井第二小学校学童クラブ)			41,318
		改修工事(杉並保健所内)			22,124
		初度調弁(初度消耗品、初度備品)			2,254
		改修設計(杉並保健所内)			1,566
		その他(工事監理、物品移転等)			2,808
平成29年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>桃井第二小学校学童クラブの建設工事に着手するとともに、杉並保健所4階の改修工事を行い、建設工事完了までの暫定的な子どもたちの居場所となる、おぎきた子どもプレイスの運営を開始しました。</p>			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	<p>女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>待機児童の解消を求める声が寄せられています。</p>			
	今後(3~5年)の予測と方向性	<p>荻窪北学童クラブの移転スペースを桃井第二小学校内に確保し、育成環境の充実と受入数の拡大を行うことにより、平成31年度以降の荻窪北学童クラブに対する需要への対応が図られます。</p>			
評価と課題		<p>計画どおり、桃井第二小学校学童クラブの建設工事に着手しました。また、杉並保健所4階の改修工事も計画どおり行い、平成30年4月2日に開所しました。</p>			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	<p>平成31年4月の運営開始に向けて、引き続き、桃井第二小学校学童クラブの建設工事を進めていきます。</p>			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00688）

事務事業名称 高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの整備				款 04	項 02	目 03	事業 044	整理番号 320		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 318				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実							予算事業区分 投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成27年度	実行計画事業 目標 05 施策 24 計画事業 02			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
	平成29年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般			
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第6条の3第2項				
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に学童クラブを整備する。			活動指標	指標名（1）	学童クラブ移転整備			
					指標説明					
					指標名（2）					
					指標説明					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブの移転スペースを高円寺地域小中一貫教育校の校舎内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			成果指標	指標名（1）					
					指標説明					
					指標名（2）					
					指標説明					
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度		
		実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）		
指標	活動指標（1）	1 所	0	1	0	1	0	1	0.0	
	活動指標（2）	2								
	成果指標（1）	3								
	成果指標（2）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	2,793	21,181	20,997	28,086	26,664	70,810	平成29年度 予算執行率(%) 94.9 特記事項 平成31年度までの債務負担による事業です。	
	（内）投資的経費等	6 千円	2,793	21,181	20,997	28,086	26,664	70,810		
	（内）委託費	7 千円	2,793	21,181	20,997	28,086	26,664	70,810		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		0.10
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	875	875	856	856	859		859
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費	14 千円	3,668	22,056	21,853	28,942	27,523	71,669		
	単位当たりコスト	15 円	0	875,000	0	856,000	0	859,000		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	4,017	0	6,144		16,317
		都からの補助金等	18 千円	0	0	999	0	1,536		4,080
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計		20 千円	0	0	5,016	0	7,680	20,397		
差引：一般財源		21 千円	3,668	22,056	16,837	28,942	19,843	51,272		
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	320	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改築工事			
		その他()			
	(2) 事業実績	建設工事を進めるとともに、事前整備工事を行いました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消を求める声が寄せられています。			
	今後(3~5年)の予測と方向性	高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブの移転スペースを高円寺地域小中一貫教育校内に確保し、育成環境の充実と受入数の拡大を行うことにより、平成32年度以降の高円寺北学童クラブ及び高円寺中央学童クラブに対する需要への対応が図られます。			
	評価と課題	建設工事を行いました。工期延長に伴い、学童クラブの開設時期を平成31年4月から平成32年4月に延長しました。今後は、平成32年4月の開所に向けて、それらの工事を適切に進めていきます。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成32年4月の運営開始に向けて、引き続き、高円寺地域小中一貫教育校学童クラブの建設工事を進めていきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00723）

事務事業名称		下高井戸児童館の改修			款	04	項	02	目	03	事業	051	整理番号	322
現担当課名		児童青少年課			係名		管理係		連絡先電話番号		4402		昨年度整理番号	321
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分		投資事業
事務事業の概要	事業開始	平成28年度												
	平成29年度担当課名	児童青少年課									事業評価区分		一般	
	対象	施設管理			根拠法令等		(1)		児童福祉法第35条					
							(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則					
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○区立施設再編整備計画に基づき、下高井戸学童クラブの高井戸第三小学校内移転後の児童館施設に、ゆうゆう下高井戸館を移転し複合化する。			活動指標		指標名（1）		下高井戸児童館の改修					
						指標説明								
						指標名（2）								
						指標説明								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○高井戸第三小学校へ移転した学童クラブスペースに、ゆうゆう下高井戸館を移転し、下高井戸児童館と複合化するため、施設改修を行う。			成果指標		指標名（1）								
						指標説明								
						指標名（2）								
						指標説明								
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標（1）	1 所		1	0	1	1	0	100.0					
	活動指標（2）	2												
	成果指標（1）	3												
	成果指標（2）	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円		57,522	49,883	72,304	71,745	0	平成29年度 予算執行率(%)	99.2				
	(内) 投資的経費等	6 千円		57,522	49,883	72,304	71,745	0	特記事項 平成29年度は改修工事の出来高増により経費が増となりました。 平成29年度までの債務負担による事業です。					
	(内) 委託費	7 千円		57,522	49,883	70,304	69,758	0						
	職員数	常勤職員数	8 人		0.00	0.10	0.10	0.10						0.00
		再任用職員数	9 人		0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10 人		0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円		0	856	856	859						0
		再任用職員分	12 千円		0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13 千円		0	0	0	0						0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円		57,522	50,739	73,160	72,604	0						
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円		0	0	856,000	859,000	0						
	財源	受益者負担分	16 千円		0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17 千円		0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18 千円		0	0	0	0						0
その他の補助金等		19 千円		0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円		0	0	0	0	0						
差引：一般財源 (14-20)		21 千円		57,522	50,739	73,160	72,604	0						
受益者負担比率 (16÷14)	22 %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		322		
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		改修工事				69,062
		初度調弁				1,987
		工事監理				696
		その他()				
(2) 事業実績	下高井戸児童館の改修工事を行い、ゆうゆう下高井戸館を移転して運営を開始しました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	区立施設再編整備計画において、機能・サービスを学校等に継承した児童館施設を対象に、乳幼児を含む子どもから高齢者まで、多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転用・再編整備の検討を進めています。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区立施設再編整備計画に基づく、再編後の児童館施設の活用の一貫としての多世代が利用できる地域コミュニティ施設への転換の時期や、運営のあり方等についての意見が寄せられています。				
	今後(3~5年)の予測と方向性	多世代が利用できる地域コミュニティ施設のモデルとなる取組を進め、より良い施設運営のあり方等について、今後具体化を図ります。				
評価と課題	計画どおり、下高井戸児童館の改修工事を行い、ゆうゆう下高井戸館を移転して運営を開始しました。					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
		II 事業の改善の方向性	対象外			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性の理由・内容	ゆうゆう下高井戸館の移転完了により、本事務事業は終了となります。				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00724）

事務事業名称 高井戸第三小学校学童クラブの整備			款 04	項 02	目 03	事業 052	整理番号 323			
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4402		昨年度整理番号 322				
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成28年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分	一般		
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第6条の3第2項				
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区立施設再編整備計画に基づき、高井戸第三小学校の校舎内に学童クラブを整備する。			活動指標	指標名(1)	学童クラブ移転整備			
					指標説明	学童クラブ環境整備（別棟改修）				
					指標名(2)					
					指標説明					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	下高井戸学童クラブの移転スペースを高井戸第三小学校内に確保し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			成果指標	指標名(1)	学童クラブ移転整備による受入数の増				
					指標説明					
					指標名(2)					
					指標説明					
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	所	1	1	0	0	0	0.0	
	活動指標(2)	2	所	0	0	1	1	0	100.0	
	成果指標(1)	3	人	37	37	15	15	0	100.0	
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	54,550	53,998	8,086	5,908	0	平成29年度 予算執行率(%) 73.1	
	(内) 投資的経費等	6	千円	54,550	53,998	8,086	5,908	0	特記事項 改修工事に係る設計額が見込みより廉価だったため、執行率が90%を下回りました。	
	(内) 委託費	7	千円	53,350	52,894	8,086	5,908	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.10	0.10	0.10		0.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	856	856	859		0
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	54,550	54,854	8,942	6,767	0		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	856,000	0	0	0		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	54,550	54,854	8,942	6,767	0		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 323		
平成29年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	学童クラブ移転にかかる施設改修（別棟）		
(2) 事業実績	高井戸第三小学校敷地内のゆうゆう下高井戸館を改修し、学童クラブに転用しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	待機児童の解消を求める声が寄せられています。		
	今後（3～5年）の予測と方向性	高井戸第三小学校敷地内の、ゆうゆう下高井戸館を改修し、育成環境の充実と受入数の拡大を行うことにより、平成30年度以降の高三学童クラブに対する需要への対応が図られます。		
評価と課題	計画どおり、高井戸第三小学校敷地内の、ゆうゆう下高井戸館を改修し、学童クラブの受入数を150人から165人に拡大しました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外	
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	対象外	
	高井戸第三小学校内のゆうゆう館を改修し、学童クラブへ転用したため本事務事業は完了となります。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00747 ）

事務事業名称 下井草学童クラブの移転整備				款 04	項 02	目 03	事業 056	整理番号 328		
現担当課名 児童青少年課		係名 管理係		連絡先電話番号 4401			昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 24 子ども・青少年の育成支援の充実						予算事業区分 投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成29年度	実行計画事業	目標 05	施策 24	計画事業 02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成29年度担当課名	児童青少年課					事業評価区分 一般			
	対象	施設管理		根拠法令等	(1)	児童福祉法第6条の3第2項				
					(2)	杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	学童クラブの入会需要の増加に対応するとともに、行き帰りの安全を確保するため、桃井第五小学校近接の桃五学童クラブを増設のうえ定員を拡大するとともに、下井草学童クラブを移転・統合する。			活動指標	指標名（ 1 ）	学童クラブ増設統合			
					指標説明					
					指標名（ 2 ）					
					指標説明					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	桃五学童クラブを増設し、育成環境の充実と増加する需要への対応を図る。			成果指標	指標名（ 1 ）					
					指標説明					
					指標名（ 2 ）					
					指標説明					
区分	単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標（ 1 ）	1			1	0	1	0.0		
	活動指標（ 2 ）	2								
	成果指標（ 1 ）	3								
	成果指標（ 2 ）	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			97,470	93,844	119,697	平成29年度 予算執行率(%) 96.3	
	(内) 投資的経費等	6	千円			97,470	93,844	119,697		特記事項
	(内) 委託費	7	千円			97,470	93,844	118,497		
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.10	0.10	
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	859	859	
		再任用職員分	12	千円			0	0	0	
		非常勤職員分	13	千円			0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円			97,470	94,703	120,556		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円			0	0	859,000		
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0	0	
		国からの補助金等	17	千円			0	20,544	0	
		都からの補助金等	18	千円			0	5,127	0	
その他の補助金等		19	千円			0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円			0	25,671	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円			97,470	69,032	120,556		
受益者負担比率 (16÷14)	22	%			0.0	0.0	0.0			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	328	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		増設棟建設及び既存棟改修工事			
		施設設計			14,580
		地盤調査・測量			3,564
		工事監理			2,100
		その他（ ）			
(2) 事業実績	桃五学童クラブ増設のための施設設計を行うとともに、施設建設の準備等を行いました。				
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部、小学校に近接する場所の活用により、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	待機児童の解消を求める声が寄せられています。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	桃井第五小学校近接の桃五学童クラブを増設のうえ定員を拡大するとともに、下井草学童クラブを移転・統合することにより、平成31年度以降の桃五学童クラブ及び下井草学童クラブに対する需要への対応が図られます。			
評価と課題	計画どおり、桃五学童クラブ増設のための施設設計を具体化し、施設建設の準備を行いました。				
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	その他・対象外		
		II 事業の改善の方向性	対象外		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成31年4月開所に向けて、引き続き、桃五学童クラブ増設の施設整備を行っていきます。			

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	330		
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		改修工事				39,261
		初度調弁				1,198
		校具等移転				756
	その他()					
(2) 事業実績	杉並第二小学校内の杉二学童クラブを拡張するための改修工事を実施し、成田西学童クラブを移転のうえ統合しました。					
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会進出による共働き家庭の増加や核家族化の進展等による保育需要の高まりに連動し、学童クラブ需要も年々増加しています。 区の学童クラブにおいては、小学校内での実施を基本とし、学校改築に合わせた整備や余裕教室、敷地の一部の活用などにより、児童の安全と今後の需要に応じた育成環境を確保していくこととしました。				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の解消を求める声が寄せられています。				
	今後(3~5年)の予測と方向性	杉並第二小学校内の杉二学童クラブを拡張し、成田西学童クラブを移転・統合することにより、平成30年度以降の杉二学童クラブ及び成田西学童クラブに対する需要への対応が図られます。				
評価と課題	杉並第二小学校内の杉二学童クラブを拡張するための改修工事を実施し、成田西学童クラブを移転のうえ統合し、学童クラブの受入数を135人から165人に拡大しました。					
翌年度の方針	翌年度予算の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外			
	翌年度予算の方向性の理由・内容	II 事業の改善の方向性	対象外			
		成田西学童クラブと杉二学童クラブとの統合により、本事務事業は完了となります。				

平成30年度杉並区事務事業評価表（1）

（00750）

事務事業名称		阿佐谷児童館の移転整備			款	04	項	02	目	03	事業	060	整理番号	331		
現担当課名		児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4401		昨年度整理番号					
上位施策No・施策名										24 子ども・青少年の育成支援の充実		予算事業区分	投資事業			
事務事業の概要	事業開始	平成29年度														
	平成29年度担当課名	児童青少年課			事業評価区分	一般										
	対象	施設管理			根拠法令等	(1)		児童福祉法第35条								
						(2)		杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○杉並第一小学校等施設整備等方針に基づき、阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターと統合を図り、複合施設とする。			活動指標	指標名（1）		基本・実施設計								
					指標説明											
					指標名（2）											
					指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	○阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターと統合を図り、複合施設として整備する。			成果指標	指標名（1）											
					指標説明											
					指標名（2）											
					指標説明											
区分		単位	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	平成29年度							
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）							
指標	活動指標（1）	1				0	0	1	0.0							
	活動指標（2）	2														
	成果指標（1）	3														
	成果指標（2）	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円			1,185	960	2,250	平成29年度予算執行率（%）	81.0						
	（内）投資的経費等	6	千円			1,185	960	2,250	特記事項 平成29年度から基本設計に着手しました。（平成30年度までの債務負担行為） ○基本設計の入札を行った結果、執行率90%を下回りました。							
	（内）委託費	7	千円			1,185	960	2,250								
	職員数	常勤職員数	8	人			0.00	0.10								0.10
		再任用職員数	9	人			0.00	0.00								0.00
		非常勤職員数	10	人			0.00	0.00								0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円			0	859								859
		再任用職員分	12	千円			0	0								0
		非常勤職員分	13	千円			0	0								0
	総事業費	14	千円			1,185	1,819	3,109								
	単位当たりコスト	15	円			0	0	859,000								
	財源	受益者負担分	16	千円			0	0								0
		国からの補助金等	17	千円			0	0								0
		都からの補助金等	18	千円			0	0								0
その他の補助金等		19	千円			0	0	0								
特定財源計		20	千円			0	0	0								
差引：一般財源		21	千円			1,185	1,819	3,109								
受益者負担比率	22	%			0.0	0.0	0.0									

平成30年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		331	
平成29年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単 位	事業費（千円）
		基本設計			
	(2) 事業実績	阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図り、複合施設として整備するための基本設計に着手しました。			
事業環境の変化と方向性	事業開始当初から現在までの変化	杉並第一小学校の近隣病院の移転・建替え計画を受けて、平成29年度に新たに杉並第一小学校等施設整備等方針を策定しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	工事に際して、騒音や振動、車両進入経路の安全確保に関する要望等があります。			
	今後（3～5年）の予測と方向性	平成34年度に阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの複合施設として運営を開始する予定です。			
評価と課題		計画どおり、阿佐谷児童館を移転し、阿佐谷地域区民センターとの統合を図るための基本設計に着手しました。			
翌年度の方針	翌年度予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し		
	翌年度予算の方向性の理由・内容	平成34年度の運営開始に向けて、阿佐谷児童館と阿佐谷地域区民センターとの複合施設の施設設計に取り組みます。			